

沖繩担当大使通信
第2回 新たな年の始まり

2026年（令和8年）1月30日



在沖米国商工会議所・在沖米国総領事館共催の国際友好新年会
(2026年1月13日、於：宜野湾市内ホテル)

新年を迎えて早くも1か月が経ちました。皆さんはいかがが過ごされましたか。私は仕事始めの1月5日から月末まで、沖縄県の市町村や経済団体、米国の総領事館や経済団体、当地の米軍などが主催する一連の新年会に出席して、多くの皆様に御挨拶させていただきました。

それに加えて、1月中旬には外務省と沖縄県の共催で駐日外交団による沖縄県視察ツアーを初めて開催しました。また、引き続き市町村長や大学学長といった皆様に着任挨拶を行いました。石垣島にも訪問し、石垣市長、竹富町長のみならず陸上自衛隊石垣駐屯地や海上保安庁石垣海上保安部からもお話を伺いました。

今回の沖縄担当大使通信では、新たな年の始まりに沖縄担当大使として取り組

んだことや感じたことを、取りまとめて報告させていただきます。



沖縄経済同友会新春懇談会での
「沖縄からアジアへトビタテ！」派遣学生紹介
(2026年1月23日、於：那覇市内ホテル)

●新年会への参加

1月5日の仕事始めには、沖縄観光新春の集い、那覇市新年祝賀名刺交換会、経済団体合同新年宴会が相次いで開催され、当地の各界の要人に新年の御挨拶ができました。引き続き1月末まで、市町村等（宜野湾市、浦添市、沖縄市、中部市町村会）、経済界・業界団体等（商工会連合会、沖縄県医師会、沖縄政経懇話会、沖縄経済同友会、沖縄県防衛協会）、米側関係者（在沖米国商工会議所・在沖米国総領事館、米陸軍、米海軍）の新年会が次々と開催され、主催者や出席者の皆様に御挨拶させていただきました。

各新年会では、鏡開きなど新年の行事や和やかな懇談のみならず、主催者代表挨拶での年頭方針の表明、功労者の表彰、各団体の文化や取組の紹介なども行われて多くを学びました。例えば、中部市町村会の新春の集いでは、うるま市の中高生による[現代版組踊「肝高の阿麻和利」](#)の一部が披露されて大変感銘を受けました。また、沖縄経済同友会の新春懇談会では、[沖縄からアジアへトビ](#)

[タテ！海外研修事業](#)の派遣学生 10 名が紹介されて各々の学生から研修内容の説明があり、産学連携のすばらしい取組と感じました。



駐日外交団地方視察ツアー・沖縄県主催歓迎レセプションでのカチャーシー
(2026年1月14日、於：那覇市内ホテル)

●駐日外交団による沖縄県視察ツアー

1月14日から15日まで、[駐日外交団による沖縄県視察ツアー](#)が開催されました。この地方視察ツアーは外務省と地方自治体等の共催で、2010年度から毎年実施しているもので、沖縄県での開催は今回が初めてです。

今回のツアーでは、「沖縄探検 琉球王朝から現代まで」をテーマに、歴史や文化、伝統工芸品、最先端の学術研究、産業といった、沖縄県の多様な魅力を駐日外交団に紹介しました。参加した13か国・18名の大使と配偶者は、初日に沖縄科学技術大学院大学(OIST)と琉球大学、2日目は首里城、首里染織館 suikara、瑞泉酒造、平和の礎、海ぶどう農園 海ん道を訪問して、各団体からの説明を受けました。

私は一行の沖縄到着直後に恩納村のホテルで昼食会を主催して参加各国と沖縄の関係強化に向けて意見交換を行い、同日晩には沖縄県主催歓迎レセプション

にも出席して交流を深めました。外務省の諸事業を通じて、沖縄の様々な団体・企業の国際展開を引き続き応援していく考えです。



崎原西原町長への着任挨拶（2026年1月16日、於：西原町役場）

●県内市町村長・大学学長への着任挨拶

1月は一連の新年会の合間を縫って、沖縄県内の市町村長や大学学長をはじめ着任挨拶を続けました。

各市町村長とは、米軍施設・区域関連を含む自治体としての課題や、次世代の国際交流の取組を中心に意見交換を行っています。1月末までに県内全41市町村のうち21市町村を訪問することができました。外務省沖縄事務所では、[米国防省教育部（DoDEA）](#)とも連携して、個別の交流事業の後押しをしているところです。各市町村の事情や要望を踏まえ、どのような連携や協力ができるのかを考えていきたいと思えます。

大学については、琉球大学、沖縄国際大学、沖縄大学、沖縄キリスト教学院大学を訪問して各学長に着任挨拶を行いました。外務省沖縄事務所による各大学での講義、外務省の[「アメリカで沖縄の未来を考える」（TOFU）プログラム](#)や[外務省本省インターンシップ](#)の活用など、今後さらに連携を進める考えです。



沖縄科学技術大学院大学（OIST）
（2026年1月15日、於：恩納村）

●沖縄科学技術大学院大学（OIST）

1月15日は、[沖縄科学技術大学院大学（OIST）](#)を訪問してカリン・マルキデス学長に着任挨拶するとともに、同学長からOISTの研究の成果や沖縄への貢献についてお話を伺いました。その後、加藤重治事務局長からOIST設立の経緯について詳細な説明を受け、大学の主要施設を案内していただきました。

OISTは、2011年に日本政府により設立された、理工学分野の5年一貫制博士課程を置く学際的な大学院大学で、約90の研究ユニット、約300名の博士課程の学生を擁しています。世界最高水準の科学技術の研究拠点を形成し、沖縄の技術移転と産業革新を牽引する知的クラスターの形成を図ることを目的としています。

沖縄には、次世代教育、イノベーション、環境、SDGsなどを通じて幅広く貢献しているとのこと。外務省沖縄事務所としても、OISTの国際連携や沖縄への貢献を可能な形で後押ししていきたいと思えます。



中山石垣市長への着任挨拶（2026年1月19日、於：石垣市役所）

●石垣島への訪問

1月17日～19日、着任後初めて石垣島を訪問しました。19日には中山義隆・石垣市長、前泊正人・竹富町長に各々着任挨拶を行い、石垣市と竹富町の優先課題や離島対策の現状について説明を受けるとともに、姉妹・友好都市をはじめとする国際交流や人材育成について意見交換を行いました。

この機会に、陸上自衛隊石垣駐屯地と海上保安庁石垣海上保安部も訪問することができました。石垣駐屯地では、中村康男駐屯地司令から、2023年の石垣駐屯地開設に至る経緯、災害派遣や訓練などの活動状況、地元との交流や日米協力などについて説明を受け、今後の連携について意見交換を行いました。石垣海上保安部では、田中健彦部長から、組織や体制、尖閣諸島をはじめとする領海警備、外国漁船の違法操業などの取り締まり、海難救助や災害対策、航路標識の管理など幅広い活動について説明を受け、外務省との連携について意見交換を行いました。

今後、与那国島や宮古島をはじめ、県内にある他の島々にも早い段階で訪問し、それぞれの事情についてお話を伺いたいと思っています。



八重山平和祈念館（2026年1月17日、於石垣市）

●沖縄の歴史と文化を学ぶ

今回の石垣島訪問では、石垣島マラソンに[参加](#)して、市民や参加者の皆さんと交流を深めることができました。また、石垣市立八重山博物館、八重山平和祈念館、宮良殿内、みんさー工芸館などを訪問して、八重山の歴史や文化を学びました。

週末には、那覇市内をはじめ県内各地の史跡や博物館・美術館を回っています。先月は首里城、識名園や県立博物館・美術館、今月は勝連城跡や浦添城跡、浦添美術館の[貝摺奉行所特別展](#)に行き、県内各地にそれぞれの歴史的背景や文化・伝統があることを感じています。これからも、各地を訪問して歴史や文化についての理解を深め、仕事にも活かしていきたいと思います。訪問すべき史跡や博物館などありましたら、是非お教えいただければ幸いです。

沖縄担当大使
紀谷昌彦